

# 米子水鳥公園

## レンジャー通信

水鳥公園の指導員(レンジャー)によるさまざまな活動をご紹介します。

米子水鳥公園 (TEL 24-6139、FAX 24-6140)



### オオバンの相互羽繕い

4月は野鳥たちが子育てを始める時期で、つがいで行動している鳥をよく見かけます。つがいの行動で特に興味深いのが、相互羽繕いです。つがいの片方がもう一方の羽毛を繕うもので、交互に行う場合と同時に進む場合があります。

2018年4月29日に、ネイチャーセンターの正面に浮かぶ小島で、オオバンのつがいが相互羽繕いを始めました。まずは片方がもう片方の羽毛をくちばしで繕い始めます。そして終わると、今度はお返しに相手の羽繕いをします。このようなやり取りがしばらく



つがい相手の顔の羽繕いを始めたオオバン

繰り返されます。

相互羽繕いが行われる部位は、自分のくちばしで触れない顔や後頭部です。普段は自分の脚の爪で掻いて済ませますが、相手からくちばしで繕ってもらう方が気持ちよさそうです。



羽繕いしてもらったお返しに相手の頭の羽を繕うオオバン

相互羽繕いは終わり方も面白いです。繕い終わった方が、今度は自分の番だと、目をつぶって相手に頭を差し出すのですが、相手は自分の羽を繕うのに夢中でそれに気づきません。仕方ないので、自分の羽を繕い始めて相互羽繕いは終わります。羽繕いされるのを期待して待っていた鳥の、ちよっと残念そうな様子が気の毒です。

米子水鳥公園統括指導員 桐原 佳介

## 美術館通信

特別共催展

### フォーエバー現代美術館コレクション

### 草間彌生展

会期 4月24日(土)～5月30日(日)【会期中無休】

世界を舞台に活躍する前衛芸術家・草間彌生 [1929-]。画面を埋め尽くす水玉模様や、南瓜のモチーフ、またインパクトある作家本人のプロフィール写真でご存じの方も多いことでしょう。

草間は1957年に単身渡米して以降、絵画、彫刻、インスタレーション、小説など広範な制作活動を展開。卒寿を超えた今なお、現役で活躍しつづけています。

本展では、現在の草間を象徴するモチーフが生まれた1980～90年代の作品群を中心に絵画、版画など約100点を展示します。幻想的かつパワーに満ちた「草間ワールド」をぜひこの機会に感じてください。

※混雑時には入場を制限します。

※ご来場の際は感染症拡大防止にご協力ください。

米子市美術館

(TEL 34-2424、FAX 33-0679)



《黄樹》1992年 アクリル 162×390cm